

# 結核しずおか

2号2000年1月25日

発行所

財団法人結核予防会静岡県支部

〒420-0915

静岡市南瀬名町6-20

TEL 054-261-2512

FAX 054-261-9474

発行責任者 花崎敏行

印刷 三協印刷株式会社



(写真提供 富士市 一条義明氏)

## 年頭所感

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

年の初めにあたり、日頃当支部の結核予防対策の普及啓発・検診業務が、県、市町村、医師会、学校をはじめとする関係各位の御指導、御協力により、順調に進展し、お陰様で県民の皆様の健康にいささかなりともお役に立つことが出来ました事を深く感謝申し上げます。

現在、我が国は、厳しい経済環境の下、様々な面で社会のあり方が大きく変わろうとしております。そして、21世紀は「人、もの、情報」が地球規模で活発に行き交う「大交流時代」といわれております。

こうした中で、静岡県では、この大交流時代に、住む人も訪れる人も心から快適さを実感できる「快適空間しずおか」の実現に向けて、その魅力を一層高め、内外の人から愛され、世界に誇りうる地域となるよう、「交流人口の増大」、「ユニバーサルデザインの普及」、「本家・本元づくり」を目指すこととしておりますので、当支部におきましては、県民の健康を守るという観点から、静岡県が目指す施策の一翼を担い、全力を傾注してまいりたいと考えております。

当支部におきましても、財政状況は厳しい状況にありますから、本年はより一層の経営の効率化、事業拡大、収益率の向上等に努め、経営の安定を図ってまいることとしております。

また、県の御指導、御協力のもとにキャンペーンや「県結核予防大会」等あらゆる機会を通じて県民への普及啓発を進めるとともに、健康診断をはじめとする各種施策・事業を積極的に推進する等今以上に結核予防に努めてまいり所存であります。

今後も、結核予防会静岡県支部の活動に対しまして、一層の御理解、御協力、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成12年1月



財団法人結核予防会静岡県支部  
支部長 石川嘉延  
(静岡県知事)



## 講演要旨

# 「結核の現状と課題」



日時 平成11年11月19日

会場 静岡県総合社会福祉会館

講師 (財)結核予防会静岡県支部  
静岡診療所長小林健司

結核の新規登録者及び罹患率は、約40年ぶりに反転微増兆候を見せた。(ただし、静岡県内では減少)。今後の見通しとして、2030年を目標とした結核根絶宣言は、少なくとも2060年以降に持ち越されそうである。結核減少鈍化の要因として、①現代社会の若年層は、BCG接種者であっても、結核菌の暴露を受けておらず免疫力は高くないこと、②建物の高気密化により、単位体積中の(吸入)菌の量が増えたこと、③結核に対する免疫力の低下を伴う糖尿病の増加、④結核既往者の高齢化により、過去の結核病巣から再燃発病する例が増加していることなどがあげられる。

集団感染について、過剰反応ともいえる報道が目立つが、結局は身近に起きうる問題なのである。専門学会では、結核発症予防の画一的なガイドラインは存在しない、とすら言われている。ツベルクリン反応検査(以下ツ反)についても、発赤の大きさが、そのまま病勢を反映するわけではない。BCG接種率の高い我が国では、ツ反が強陽性であった場合、近い過去に感染したためか、BCG接種によるものか、生理的な反応(ブースター効果)のためか、解りにくいのである。レントゲン1枚で診断出来る、というのも誤解である。高齢者層では、結核以外の呼吸器疾患の罹患も多い。結核性の影としても、それが活動性か否かを診断するのは、大変難しい。ツ反、レントゲンは、重要ではあるが補助的な役割を果たすものとの見解が当予防会本部からも出されている。

診断、及び周囲への感染のリスクは、喀痰検査、つまり結核菌の塗抹培養検査をもって、決定されるのである。結核に対する正しい知識は浸透しつつあるが、レントゲン1枚とって終わりの検診では、結核の減少に何ら貢献しないことを強調したい。先に述べたように、老健施設などにおいて結核の発病を阻止することは不可能である。施設嘱託医師との密接な連携により、症状、既往歴、レントゲン等を総合判断した上で、すみやかに医療機関を受診していただくこと、保健所への発病者届け出義務を怠らないこと、周囲への感染拡大を最小限に食い止める事、結核蔓延の芽を一つ一つ摘み続けていく事こそが、結核撲滅への近道に他ならない。





# 市町村保健センターの紹介

## 静岡市保健センター及び保健福祉センター

静岡市は、市域が広いので市内7ヶ所に保健センター及び保健福祉センターがあります。このうち、保健福祉センターは、福祉関係のサービスも一部実施しています。各センターでは、保健婦の訪問活動など様々な事業を実施しています。

保健・福祉センター名	所在地	担当地域
中央保健センター	追手町	中央部
東部	千代田	東部
北部	昭府	北部・山間地
長田	鎌田	安倍川以西
大里	中野新田	南西部
南部保健福祉センター	曲金	南東部
藁科	羽鳥	北西部

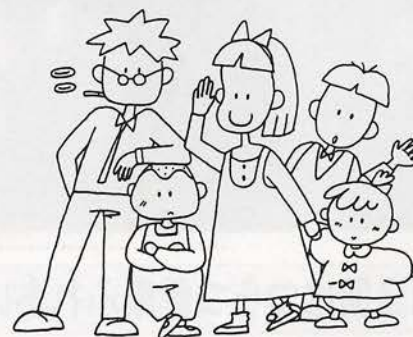


平成11年12月藁科保健福祉センター開所

## 事業内容

### 1 妊産婦及び乳幼児関係

- ◎母子健康手帳の交付
- ◎安産教室、両親教室、育児教室など子供を産み育てる両親を対象とした教室や乳幼児の検診、親子一緒に参加する教室、家庭訪問等を通じて、子育てに関する様々な事業を実施しています。



### 2 一般成人関係

- ◎結核予防事業  
結核に関する大部分の事業は保健所で実施していますが、結核予防法第34条により登録された患者の家庭に保健婦が訪問し、保健指導を行っています。

- ◎老人保健法保健事業  
40歳以上の人を対象に医師、保健婦、栄養士、歯科衛生士等と協力して、①地域の集まりに参加して実施する健康教育、②各センターにて実施する生活習慣改善指導事業、骨粗鬆症予防検診、生活や介護のための助言・指導を行う訪問指導や③各センターを拠点として実施するリハビリ教室（リフトバスで送迎のサービスをしています）などの事業を通して、予防からリハビリまで総合的な保健サービスを行っています。



### 3 健康まつり

毎年1回保健センター及び保健福祉センターを開放して、健康祭りを実施しています。身長・体重測定、骨密度測定などセンターごとに様々な企画を立て、保健婦、栄養士、歯科衛生士等が協力して実施しています。自分の健康をチェックしようと毎年多くの住民が参加しています。

以上のように保健センター及び保健福祉センターでは、赤ちゃんからお年寄りまでの健康のために、様々な事業を展開していますが、市民の相談を直接受ける事が多いため、常に明るく親身になって相談に当たることが出来る体制であることを第一に考えて日々活動しています。

(静岡市保健所事務吏員田中寛規)



# 静岡県結核予防大会

主催 (財) 結核予防会静岡県支部  
静岡県結核予防婦人会

平成11年度静岡県結核予防大会は、去る11月19日に静岡県総合社会福祉会館（静岡市）で開催いたしました。

大会は県内各地から約270名参加を得て、丸山静岡県健康福祉部技監、勝呂静岡県医師会長、大池結核予防会本部理事長からお祝辞をいただきました。

大会は、静岡県支部長表彰として結核予防に功労のあった3個人、3団体を表彰いたしました。また、結核予防婦人会長表彰として、結核予防に功労のあった個人、団体及び複十字シール募金に貢献された団体等合わせて47の団体、個人を表彰いたしました。

表彰後、「結核の現状と課題」について結核予防会静岡県支部の小林静岡診療所長の講演を行いました。（講演の要旨は2ページに掲載）



## 結核予防を訴える

### JR静岡駅でキャンペーン

多剤耐性結核の蔓延、集団感染の多発など国民の健康を脅かす大きな問題として取り組むために、厚生省は「結核緊急事態宣言」を発令しました。

これを受けて静岡県感染症対策室、結核予防会静岡県支部、結核予防婦人会の3者共催で「結核予防週間」の行事として昨年の9月24日、JR静岡駅において乗降客に啓発用リーフレットを配付し結核予防を訴えた。

## 第3回はつらつ健康ふれあいフェスティバル

（静岡県総合健康センター主催）……出展協力  
（平成11年10月17日開催）



## 「県民の日」物語&フェスティバル

（静岡県女性センター主催）……出展協力  
（平成11年8月21日開催）

## 結核予防パネルの貸出し

当予防会の所有する結核・肺がん予防のパネルを各県健康福祉センター・市町村保健センター・小中学校等が実施する健康まつり、健康教育等に貸出しいたしました。

貸出し先	貸出し先	貸出し先
県富士健康福祉センター	熱海市健康づくり課	引佐町立北部中学校
県中部健康福祉センター	大須賀町保健センター	引佐町立川名小学校
県西部健康福祉センター	土肥町保健センター	



## 市町の「健康祭り」等に協力

### 裾野市「ふれあい健康まつり」

裾野市では、今年も11月の第二日曜日に「ふれあい健康まつり」を開催しました。

このまつりは、市民の健康を応援し、福祉活動を行う拠点として、平成7年度に「福祉保健会館」がオープンして以来健康課と社会福祉協議会と共催で行うことが恒例となっています。

当日は、駐車場の「ふれあいの広場」では、特設ステージあり、福祉団体・ボランティア団体のテントありでとても賑やかでした。また、会館の中かに一步踏み入るとそこは「健康」部門です。姿勢チェックや体力診断、体脂肪や骨密度測定、体によい料理の試食、健康相談や歯のブラッシング指導などおこなわれました。

今年は、厚生省から「結核緊急事態宣言」がだされたく結核について市民への啓蒙を結核予防会にお願いしました。

訪れた市民も高い関心を寄せていましたので、実際のレントゲンフィルムを使用しての説明は普段余り見る事がないため「病気の怖さ」というものが良い意味で刺激となりダイレクトに伝わったのではないのでしょうか。市民も納得顔で部屋を後にしました。

(裾野市健康課看護婦渡辺亮子)



### 清水町の「ふれあい広場」

毎年、清水町では11月23日の勤労感謝の祝日に社会福祉協議会の主催によりふれあい広場が開催されます。

町内の福祉団体、ボランティア、商工会、農協、等40以上の様々な団体が参加して、模擬店、特売コーナー、健康相談、体験コーナー等スタッフ関係者約1,000人による多彩なイベントが繰り広げられ今年は、約3,000人の参加により賑やかな町民のふれあいの場となりました。

行事の一つとして町実施の「結核・肺がん検診」の追加検診をこの会場内で実施して今年で3年目になります。受診者も年々増え追加検診として定着してきました。

当然の事ながら、この場を通じて、「結核・肺がん検診」を積極的に受診されるようPRに勤めております。

(清水町保健センター看護婦宇田隆子)





# 連載 なぜ・なぜ・なあに

## 「エックス線てなあに」

今から約100年程前、ドイツのレントゲン博士によって発見された放射線の一つです。ウルツブルグ大学で真空管を使って実験中、これまで知られていた放射線とは異なり、何かわからない放射線を見つけたことから「Xなる線＝エックス線」と名付けられました。日本では発見者の名前をとって「レントゲン」と呼ばれることもあります。

## 「放射線」と「放射能」はどう違うの

自ら放射線を放出する物質（ウラン、ラジウム等）を放射性物質といい、その物質から出る $\alpha$ 線や $\beta$ 線、 $\gamma$ 線はじめ、エックス線装置で発生させるエックス線の人工的な放射線の他に、空からの宇宙線等（※自然放射線）も含めた電磁波や粒子線等を総称して「放射線」と言います。

また、物質が放射線を放出する能力を放射能と言います。

※自然放射線とは、自然界の宇宙線、食物、地中等から発生する放射線をいいます。

## 「検診での放射線は危険ですか」

住民検診で撮影される放射線量は、使用する機器等により多少の違いはありますが、1回の撮影で、だいたい次の線量になります。

胸部間接 0.3mSv ミリシーベルト(mSv) = 1/1000シーベルト(Sv)

胸部直接 0.2mSv

検診や病院等では病気を見つけるためにエックス線検査をしますが、その被曝は臨界事故時の被曝と違い「安全である」と言えます。

放射線を被曝してもなんら障害の症状が現れないという線量は、学会等では一応の目安を250mSv程度としています。但し、この量は全身が一度に受ける量です。同じ線量でも分割したり、身体の一部の被曝の場合は、障害の程度はもっと軽くなります。

エックス線検査の場合は目的がはっきりしており、胸部とか腹部等の局部被曝であり、使用する線量も問題にならないくらい少ないので、後になって障害が現れることもありません。

当会の検診は安全に留意し検査を行っていますが、放射線は「見えない」「触れない」「感じない」性質のため、不安に思われることがおありでしょう。放射線を正しく理解して頂くため、ご質問は検診に従事している技師又は当会にお問い合わせ下さい。

資料 「放射線被曝のQ&A」

「病院等で使用されている放射線についてのご案内」

「放射線Q&A」

「新・放射線の人体への影響」

恒吉 積著 財団法人 結核予防会

社団法人日本放射線技師会編

社団法人 日本医学放射線学会編

日本保健物理学会・日本アイソトープ協会編

新連載の『なぜ・なぜ・なあに』は「結核の用語」や「日常の感染対策」をはじめ、「わかりやすい結核予防法」等、健康に関する基本的な内容や最新トピックスを中心に、シリーズで掲載する予定です。

## 『結核緊急事態宣言』

平成11年7月26日 厚生省・財団法人結核予防会  
社団法人 日本医師会

発病者	全国	1日	120人
	静岡県	〃	3人
死亡者	全国	3時間	1人
	静岡県	1年間	60人



長びくせきは  
赤信号



# (財) 結核予防会結核研究所へようこそ!



結核の常識



活動



研究の動向



情報



最近のテーマ

皆さんご存じですか?

世界の総人口の3分の1、17億人が結核に感染していると言われ、  
毎年新たに800万人の結核患者が発生し、  
300万人の方が結核で亡くなっています。  
これにHIVが追い打ちをかけています。

わが国でも、結核は今なお日本最大の伝染病です。

平成9年(1997年)に約4万3千人の結核患者の発生がありました。

日本では年配者からの結核発生がその多くを占めていますが、

最近若い成人の間での集団発生が増えています。

外国人の結核発生の問題も起こっています。

まだまだ、油断などとてもできません。詳しくは結核の常識をご覧ください。

結核研究所の組織・地図

結核予防会

関連団体

WHO

CDC (USA)

その他のリンク

お問い合わせはメールアドレス [rit@jata.or.jp](mailto:rit@jata.or.jp)

ホームページアドレス <http://www.jata.or.jp/>

## 【電話確認】

検診期間中は毎日、翌日の検診会場の鍵をお持ちの町内会長さんのお宅や、公民館に確認の電話をします。ホンのちょっとしたこの電話、実はとても重要なんです。

ある日、いつもの様に確認の電話をしていましたが、どうしてもつながらないお宅がありました。明日の朝すればいいかなと軽い気持ちでその日は帰ったのですが……。

翌日、朝一番で電話をしても、やはりつながりませんでした、その検診会場は、午後からでしたが、10時になっても11時になってもつながりません。焦るばかりでしたが、最後の手段として、市民税課に勤務先の電話を教えてもらい、やっと町内会長さんと連絡が取れました。「今日は何だっけ」と予想外の返事でしたが、合鍵の持ち主を教えてもらいやっと安心しました午後1時になると、先程までの私の気持ちとは裏腹に、何もなかった様に検診が始まったのでした。

(富士市保健女性センター事務吏員青木洋和)



# おしらせ

## 平成11年度結核予防リーダー研修会

主旨 結核予防の自主組織である結核予防婦人会の幹部、市町村の保健委員及び保健婦等を対象に研修会を開催し結核検診の重要性と結核に対する正しい知識の普及を図る事を目的とする。

主催 静岡県結核予防婦人会・開催地支部

後援 開催地市・静岡県保健婦（士）会・静岡県保健委員連絡協議会  
（財）結核予防会静岡県支部

区分	東部地区	中部地区	西部地区
日時	平成12年2月18日	平成12年2月24日	平成12年3月7日
会場	裾野市市民文化センター 裾野市石脇586 TEL 0559-93-9300	焼津市焼津公民館 焼津市本町5-6-1 TEL 054-626-0888	磐周教育研究所 磐田市国府台489-1 TEL 0538-32-5171
講師	国立療養所千葉東病院 呼吸器科医長八木毅典先生	（財）結核予防会第一健康相談所 診療部長増山英則先生	（財）結核予防会第一健康相談所 診療部長増山英則先生
演題	最近の結核の現状と 集団感染対策	最近の結核の現状と 集団感染対策	最近の結核の現状と 集団感染対策
講師	静岡県立大学名誉教授 浜松医科大学非常勤講師 中田健次郎先生	静岡県立大学名誉教授 浜松医科大学非常勤講師 中田健次郎先生	静岡県立大学名誉教授 浜松医科大学非常勤講師 中田健次郎先生
演題	健康づくりのための運動	健康づくりのための運動	健康づくりのための運動
参加人員 参加団体 (予定)	180人 静岡県結核予防婦人会員 市町村保健委員 市町村保健婦	180人 静岡県結核予防婦人会員 市町村保健委員 市町村保健婦	180人 静岡県結核予防婦人会員 市町村保健委員 市町村保健婦

## 新年明けまして

おめでとうございます

職員一同、本年も皆様の健康増進に少しでも貢献できますよう、頑張ってお参りますので、昨年と同様、ご指導、ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。



編集後記 創刊号の発行時に「結核しずおか」の表題について「あまりにもストレート過ぎるのではないか」「総合検診も行っているのに、結核というイメージが強過ぎる」等々、編集委員会で議論され、では何が良かとなると「これは」というものがなく、結局、主要業務が「結核予防の普及啓発」と「結核を中心とした検診」ということで、今の表題に落ち着いた。  
第2号が発行出来て大変嬉しい、「継続は力なり」と思っています。  
今回から当支部が検診を受託している、市町の事業紹介等を掲載する事にしました。寄稿をお待ちしております。(T. H)

【題字：田中隆：元支部職員】